タイトル，著者名（発表者およびその指導医を含め原則3名まで），所属名を記載

（タイトル，著者名，所属名には英文も併記する）。

指導医の連絡先（E-mailアドレス）を明記すること。

本文の前に，600字以内の和文抄録を記載。「緒言，症例，経過，考察」等に分けた構造化抄録とすること。

【緒言】：*なぜこの症例を選択したのか，過去の報告を適宜引用しながら記載する。*

*必要があれば，患者の有する障害や疾患についての詳細，歯科治療に関連した事項について適宜引用しながら説明する。*

われわれは，・・・・・・・・・・・・・・・・の一例を経験したので報告する。

【症例】：XX歳，性別。・・・・を主訴に来院した。

*・既往歴*

*・本報告に関連した疾患の現病歴*

*・歯科的現病歴*

*・現症，口腔内所見*

*・必要があれば血液データ，画像データ等を掲載する。*

なお，本報告の投稿について患者本人（もしくは代諾者）から文書による同意を得ている。

【経過】：*時系列に沿って記載していく。*

*どのような点に注意したのか読者が理解できるようにはっきり分かるように記載する。*

*画像データなど読者が理解しやすくなるものを掲載する。*

【考察】：*本症例の特徴や注意した点を，過去の報告を適宜引用しながら記載する。*

*このような症例に対応するためにどのようなことに気をつけなければならないのか，過去の報告を適宜引用しながら記載する。*

*新規性があれば記載する。*

【謝辞】：*必要があれば記載する。*

*本報告に関連したすべての著者の利益相反について記載する。*

本報告に関連し，開示すべき利益相反はない。または，本報告に関連した利益相反は以下の通りである。

・講演：XXX株式会社

・委託研究：YY株式会社

【参考文献】：*引用順になっているか確認する。*

*学会の投稿基準に合った体裁になっているか確認する。*

【表】：*表は，参考文献の後に掲載する。*

【図説】：*図は，ワードに貼り付けない。カラーも可*

図1．図2．…